

令和5年度「福島を生きる講座」 実施報告

当館では県民が福島について知識を深め新たな活動につなげることができる講座「福島を生きる講座」を開催しています。今年度開催した第1回から第4回までの当講座の内容について紹介します。

第1回「吾妻山噴火から130年—火山の怖さ・火山の魅力—

講師：佐藤 公 氏（磐梯山噴火記念館 館長）

開催日：令和5年6月24日（土）14:00～15:30 参加人数：71名

大規模な噴火から令和5年で130年を迎えた吾妻山の歴史や自然、噴火への備えなど火山防災についてお話いただきました。国内の巨大噴火や県内の磐梯山や安達太良山の噴火の歴史を踏まえた上で、1893年、1950年、1977年に起きた吾妻山の噴火や最近の噴火活動、実際に吾妻山が噴火したら福島市周辺に住んでいる人はどのように避難すべきかなど、吾妻山をかたどった模型を用いて解説いただきました。



第2回「朝河貫一博士生誕150年記念講演会

朝河貫一と平和の追求—『日本の禍機』から『大統領親書草案』へ—

講師：甚野 尚志 氏（早稲田大学文学学術院 教授）

開催日：令和5年8月5日（土）14:00～15:30 参加人数：80名

朝河貫一博士の生い立ちから「天皇宛大統領親書草案」作成までを振り返りながら、彼の信念となった平和追及の思想についてお話いただきました。朝河貫一博士の生誕150年を記念したオープニングイベントとして、貫一が幼少期を過ごした福島市立子山地区の「立子山奉納太鼓伝承会」による「朝河太鼓演奏」の披露があり、立子山地区の元気な子どもたちの演奏に会場が湧きました。

